

平成27年度 事業別予算概要

事業名	11100	管きよ建設事業費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	1	下水道事業費		基本分野	5		基盤・安全	実施計画事業		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	1	下水道施設費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円			
				目	1	管きよ建設事業費	施策概要	5	下水道施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民		どうしたいのか(意図)	・下水道の利用ができて快適な生活環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・老朽化したマンホール蓋を計画的に更新する		・下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きよ整備を行う	
	対象者数	63,159 人									

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・三福寺町ほか公共下水道処理区域内の管きよ整備 ・マンホール蓋の更新整備						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	下水道整備面積	ha	目標値	2	1	0	0
	算出根拠等		実績(見込)	3	2	0	
成果指標	下水道整備率	%	達成率(%)	150	200		
	算出根拠等		目標値	100	100	100	100
成果面	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯数		実績(見込)	100	100	100	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・今後整備を進める箇所は、受益者までの管路延長が長くなる箇所や、民間による宅地造成地が主となりコスト高が懸念されるため、下水道管きよの整備計画を見直す必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	事業コストの縮減を念頭に、下水道未整備地区の解消に向け、下水道整備計画区域の見直し、浄化槽整備区域への変更を検討する	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	老朽化したマンホール蓋の計画的な更新
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	76,576	71,692	28,278	81,850
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,211	1,135	448	1,296
	受益者	公共下水道処理区域内の市民	(B)	63,232	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共下水道処理区域における管きよの整備及び老朽化したマンホール蓋の更新	要求のポイント	・管きよ布設工事 ・マンホール蓋更新	事業実施の課題	・国からの補助金の確保
------	--------------------------------------	---------	-----------------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	28,068	81,850	53,782	66,274	66,274	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	7,500	33,480	25,980	25,000	25,000		
県支出金			0				
地方債	13,200	38,600	25,400	35,400	35,400		
その他	7,368	9,770	2,402	5,874	5,874		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	11220	処理場建設事業費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	1	下水道事業費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	1	下水道施設費	総合計画	5	上下水道	H27実施計画額	千円		
				2971	目	2		処理場建設事業費	施策概要		5	下水道施設の整備	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の機器の更新及び延命化を行い、処理場の機能維持を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器を計画的に更新を行うとともに長寿命化工事を実施する
	対象者数	63,159 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化工事(送風機)を実施 ・汚泥減量化のための消化槽増設工事を実施 ・処理場管理棟の耐震補強工事に着手 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	設備の改修	件	目標値	6	6	3	1
	算出根拠等	設備の更新及び長寿命化工事の件数	実績(見込)	6	6	3	
成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等	設備の更新及び長寿命化工事の件数	目標値	1	1	1	1
成果面	算出根拠等	水質検査の結果	実績(見込)	1	1	1	
			達成率(%)	100	100	100	
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新は計画的に行っている ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直ししていく必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の更新及び長寿命化工事については、5か年計画に基づき計画通り進めている ・老朽化している設備の稼働状況の把握に努めている ・次期の下水道事業整備5か年計画を策定するため、設備の現状と稼働状況を把握するとともに、維持管理している現場の意見を取り入れ、効率的な維持管理方法の検討を行う 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	計画的に長寿命化工事等を実施する
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 262,479	507,816	735,500	41,205
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,151	8,040	11,645	652
受益者	公共下水道処理区域内の市民	(B) 63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

事業内容	・宮川終末処理場の老朽化した設備、機器の更新及び長寿命化	要求のポイント	・第2期長寿命化計画の推進	事業実施の課題	・効率的かつコストを抑えた実施計画の策定 ・国からの補助金の確保
------	------------------------------	---------	---------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	693,700	41,205	△ 652,495	40,000	40,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金	377,100	20,500	△ 356,600	20,000	20,000		
県支出金			0				
地方債	281,900	18,400	△ 263,500	18,000	18,000		
その他	34,700	2,305	△ 32,395	2,000	2,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	12100	特定環境保全管きよ建設事業費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	1	下水道事業費		基本分野	5		基盤・安全	実施計画事業		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	特定環境保全下水道施設費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円			
				目	1	管きよ建設事業費		施策概要	5					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道の利用ができ適な生活環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・国府処理区及び栃尾処理区の下水道未普及地区に下水道管きよを布設する
	対象者数	14,307 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国府町今地区内の管きよ整備 ・奥飛騨温泉郷神坂地区内の管きよ整備に伴う道路舗装整備 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	下水道整備面積	ha	目標値	3	3	2	6
	算出根拠等		実績(見込)	3	3	2	
成果指標	下水道整備率	%	目標値	96	96	97	97
	算出根拠等	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯数	実績(見込)	95	96	96	
成果面			達成率(%)	99	100	99	
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の市民ニーズは高いが、下水道利用には個人での宅内排水整備費用が必要となり、高齢者世帯、資金不足を理由に下水道切り替えに至らないケースがあるため、将来的な維持管理に係る自己負担額の比較や融資制度の説明をして下水道接続率を上げる必要がある ・地区によっては事業費がコスト高となり、受益者負担とのバランスが取れていないが、処理区域全体の下水道接続率を上げることで事業効率を上げる必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・単年度単位では事業費と受益者負担とのバランスが取れていないが、下水道利用が可能となった箇所の接続率を上げる
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・下水道整備する上で、事前に住民の下水道接続同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	107,828	113,654	200,665	373,894
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,444	7,944	14,026	26,134
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特定環境保全公共下水道処理区域における管きよの整備	要求のポイント	・管きよ布設工事	事業実施の課題	・国からの補助金の確保
------	----------------------------	---------	----------	---------	-------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	200,665	373,894	173,229	233,278	233,278	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	86,000	164,226	78,226	107,000	107,000		
	県支出金			0				
	地方債	101,000	174,600	73,600	110,700	110,700		
	その他	13,665	35,068	21,403	15,578	15,578		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	12200	特定環境保全処理場建設事業費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	1	下水道事業費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	特定環境保全下水道施設費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円		
				2267	目	2		処理場建設事業費	施策概要		5	下水道施設の整備	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道の利用ができて快適な生活環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画を策定し、老朽化した設備や機器の更新を計画的に実施する。
	対象者数	14,307 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	特定環境保全公共下水道4処理区の基本計画の見直し							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	第1期長寿命化工事	施設	目標値				7
				実績(見込)				
				算出根拠等				
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等				
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等								
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の実施方針	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	二次評価	
	維持・改善	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	16,254
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	0	1,136
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特定環境保全公共下水道処理場長寿命化計画の策定	要求のポイント	・特定環境保全公共下水道処理場長寿命化計画策定に要する経費を計上	事業実施の課題	
------	--------------------------	---------	----------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	16,254	16,254	20,000	20,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		5,718	5,718	10,000	10,000		
	県支出金				0			
	地方債				0			
	その他		10,536	10,536	10,000	10,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21100	一般管理費	予 算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			2	総務費	5		基盤・安全				
担当課	水道部 下水道課		内線	項	1	総務管理費	基本分野	5	上下水道	実施計画事業	H27実施計画額	千円
	2264		目	1	一般管理費	4		水洗化の普及				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道、特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道の受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した下水道事業の運営を行う ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進してできるだけ多くの市民に下水道を使用してもらう	概要	事業の実施手法(手段)	・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と下水道の利用促進をすすめる
	対象者数	77,466 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料の適正な賦課、徴収 ・上下水道課が連携を図り、水道料金、下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、個別訪問等による水洗化普及の実施 ・未接続世帯へのアンケート調査を実施 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果指標	下水道事業受益者分担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)		92	97	95		
成果指標	下水道事業受益者負担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)		98	99	96		
成果指標	下水道使用料現年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)		99	99	99		
活動指標	下水道接続率	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)		86	87	88		
補足	算出根拠等	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯数	達成率(%)	86	87	88	

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常的な未納者に対し、電話連絡、給水停止、滞納処分などを行うとともに、期限内に納付するよう指導する必要がある ・委託の内容等を見直し、さらに縮減できるよう努める必要がある ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域に対して普及活動を行う必要がある
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に滞納整理を実施するとともに、下水道使用料に関しては、上下水道課と連携を図り、給水停止を実施しながら徴収強化を図っていく ・委託業務については、総合行政システムの導入に際し、業務の効率化、費用の縮減ができるよう対応する ・下水道等の管きょ布設は、下水道事業の趣旨説明を十分に行ったうえで、地域で確実に接続していただける状況であることを確認してから施工する ・他の地域と比較して、下水道への接続率が低い地域を重点的に、戸別訪問による啓発活動を行う
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討 ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	99,572	92,488	101,752	140,869
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,281	1,194	1,314	1,818
	受益者	処理区域内の市民	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・分担金・負担金及び使用料の賦課・徴収や水洗化普及に係る事務 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営に係る一般経費及び負担金等の賦課・徴収や水洗化普及に係る経費を計上 ・税率改正による消費税の増 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・未水洗化世帯への普及啓発と滞納等への対応による収入の確保
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		101,962	140,869	38,907	134,890	134,890	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	地方債			0				
	その他	101,962	140,869	38,907	134,890	134,890		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	22100	管きよ管理費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	2	総務費		基本分野	5	基盤・安全		実施計画事業	公共下水道施設管理事業(特別会計)		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	下水道施設管理費		分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円			
			2267	目	1	管きよ管理費		施策概要	5	下水道施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民		どうしたいのか(意図)	・下水道の利用ができて快適な生活環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う
	対象者数	63,159 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> マンホールポンプの清掃・保守点検 12回 (1回/月) 管路施設カメラ調査 L=3,145m 管きよ侵入水止水修繕 N=46箇所 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回	目標値	12	12	12	12
	実績(見込)		12	12	12		
成果指標	算出根拠等	1回/月	達成率(%)	100	100	100	
	マンホールポンプ故障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0	0
成果面	算出根拠等	汚水の流出件数	実績(見込)	0	0	0	
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があり、汎用品への切り替えが必要となる
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・コスト削減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める	
次年度の実施方針	○維持・改善	・コスト削減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
二次評価	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 48,700	53,220	53,367	69,090
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 770	843	845	1,094
	受益者	(B) 63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道処理区域の管きよ、マンホール及びマンホールポンプの維持管理 テレビカメラ調査等不明水調査 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に必要な委託料、修繕料等を計上 国道の道路改良舗装に合わせたマンホール改修及び嵩高調整 管路調査に加え、宅内排水設備からの雨水等、不明水の流入状況調査 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施 サンプル調査・拡大及び詳細調査を実施し、調査後の改善対策工事につなげる
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	53,367	69,090	15,723	53,367	53,367	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
地方債			0				
その他	53,367	69,090	15,723	53,367	53,367		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	22200	処理場管理費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	審核			款	2	総務費		基本分野	5		基盤・安全	実施計画事業		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	下水道施設管理費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円			
			2971	目	2	処理場管理費	施策概要	5	下水道施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・施設(処理場)の適切な運転管理を行うことにより汚水が適正に処理され、公共用水域の水質保全と快適に暮らせる生活環境が確保されている ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発におこる修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する
対象者数	63,159 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川終末処理場において、処理水は排水基準内であった 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1			
	算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100	100	100		
		機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0	0
	成果指標	実績(見込)	0	0	0			
		算出根拠等	事故報告件数	達成率(%)				
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等	達成率(%)						
		目標値						
	算出根拠等	実績(見込)						
達成率(%)								
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等	達成率(%)							
	目標値							
算出根拠等	実績(見込)							
	達成率(%)							
補足	・通常の維持管理業務のほか、突発事故(停電、機器故障)発生時には速やかに対応した							

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	機器の修繕にあたってはコストの縮減に努めているが、設備数が多く、突発修繕が多く発生している状況である 計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト縮減に向けた事業提案を促している	
次年度の実施方針	○維持・改善	施設の適切な管理運営を継続して行っていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	処理場の適切な管理運営を継続するとともに、施設の延命化に努め、コストの縮減を図る必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 238,914	243,841	268,452	287,268
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,778	3,861	4,250	4,548
	受益者	(B) 63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

事業内容	宮川終末処理場の維持管理	要求のポイント	施設の維持管理に必要な光熱水費、委託料等を計上	事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施及び修繕と更新の的確な判断
------	--------------	---------	-------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	268,452	287,268	18,816	272,259	272,259	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
地方債			0				
その他	268,452	287,268	18,816	272,259	272,259		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	23100	特定環境保全管きよ管理費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	2	総務費		基本分野	5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	3	特定環境保全下水道施設管理費	H27実施計画額	分野	5	上下水道	千円			
			2267	目	1	管きよ管理費		施策概要	5	下水道施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道の利用ができ快適な生活環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う
	対象者数	14,307 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・マンホールポンプの清掃・保守点検 12回 (1回/月)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回	目標値	12	12	12	12
				実績(見込)	12	12	12	
	成果指標	算出根拠等	1回/月	達成率(%)	100	100	100	
				目標値	0	0	0	0
	成果指標	マンホールポンプ故障等による汚水の流出	件	実績(見込)	0	0	0	
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等	汚水の流出件数	目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
成果指標	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
成果指標	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・器具の老朽化により、マンホールポンプの遠隔監視システムの不具合が発生しているため、低コストとなるシステム改良が必要となる
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・コスト削減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・コスト削減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 28,063	32,820	32,573	39,130
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,937	2,294	2,277	2,735
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民 (B)	14,485	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特定環境保全公共下水道処理区域の管きよ、マンホール及びマンホールポンプの維持管理	要求のポイント	・施設の維持管理に必要な委託料、修繕料等を計上 ・国道道の道路改良舗装に合わせたマンホール改修及び高調整	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施
------	---	---------	---	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		32,573	39,130	6,557	32,768	32,768	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	地方債			0				
	その他	32,573	39,130	6,557	32,768	32,768		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	23200	特定環境保全処理場管理費	予算	会計	4	下水道事業特別会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			2	総務費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業	特定環境保全下水道施設管理事業(特別会計)		
担当課	水道部 下水道課		内線	3	特定環境保全下水道施設管理費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円				
			2971	2	処理場管理費	施策概要	5	下水道施設の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・施設(処理場)の適切な運転管理を行うことにより汚水が適正に処理され、公共用水域の水質保全と快適に暮らせる生活環境が確保されている ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発におこる修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する
	対象者数	14,307 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 各施設において、処理水は排水基準内であった 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	10	10	10	10
		実績(見込)	10	10	10			
	算出根拠等	水質検査の結果		達成率(%)	100	100	100	
		機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0	0
	成果指標	実績(見込)	0	0	0			
		算出根拠等	事故報告件数	達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・通常の維持管理業務のほか、突発事故(停電、機器故障)発生時には速やかに対応した							

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、突発修繕も多く発生している状況である ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	施設の適切な管理運営を継続して行っていく
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	処理場の適切な管理運営を継続するとともに、施設の延命化に努め、コストの削減を図る必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	181,288	185,408	201,691	218,351
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,516	12,959	14,097	15,262
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特定環境保全公共下水道処理区域の処理施設10カ所の維持管理	要求のポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費、委託料等を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施
------	--------------------------------	---------	--	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	201,691	218,351	16,660	202,898	202,898	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
地方債			0				
その他	201,691	218,351	16,660	202,898	202,898		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31100	地方債元金	予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
種別				款	3	公債費		基本分野	5	基盤・安全		
担当課	水道部 下水道課	内線		項	1	公債費		分野	5	上下水道	実施計画事業	
		2971		目	1	元金		施策概要	5	下水道施設の整備	H27実施計画額	千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道、特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・地方債に係る元金の償還	概要	事業の実施手法(手段)
	対象者数	77,466 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	指標名	単位	目標・実績			
			H24	H25	H26	H27
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
補足						

3 分析・評価(Check)

分析・評価	平成25決算における分析・評価で明らかになった課題
-------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

今後の方向性	課題等に対するH26対応状況	
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24	H25	H26	H27	
		決算額	決算額	予算額	予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,589,175	1,530,840	1,508,083	1,495,178
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	20,448	19,761	19,468	19,301
	受益者	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466

5 予算編成(Action2)

事業内容	・下水道施設整備に伴い起こした地方債の元金償還	要求のポイント	・地方債に係る元金の償還	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	--------------	---------

財源内訳	事業費(人件費除く)		増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	H26当初予算額	H27予算要求額					
	歳出(千円)	1,508,083	1,495,178	△ 12,905	1,495,178	1,495,178	・要求どおり ・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
地方債			0				
その他	1,508,083	1,495,178	△ 12,905	1,495,178	1,495,178		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31200	地方債利子	予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
種別				款	3	公債費		基本分野	5	基盤・安全		
担当課	水道部 下水道課	内線	2971	項	1	公債費	実施計画事業	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円
				目	2	利子		施策概要	5	下水道施設の整備		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道、特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか(意図)	・地方債に係る利子の償還	概要	事業の実施手法(手段)
	対象者数	77,466 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	指標名	単位	目標・実績			
			H24	H25	H26	H27
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
補足						

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24	H25	H26	H27	
		決算額	決算額	予算額	予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	551,041	515,102	487,173	456,330
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,090	6,649	6,289	5,891
	受益者	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466

5 予算編成(Action2)

事業内容	・下水道施設整備に伴い起こした地方債の利子償還	要求のポイント	・地方債に係る利子の償還	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	--------------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	487,173	456,330	△ 30,843	456,330	456,330	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	地方債			0				
	その他	487,173	456,330	△ 30,843	456,330	456,330		